

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・乗客数は前年並みであるが、客単価が良くなってきており、売上は前年比114.8%で推移している。
		住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・今月は、細かい商品のほかに高額商材も上々の売上である。客の動きも良く、最近に無いほどの好景気となっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・乗客からは不景気だという話は聞かない。空港に客を送ることがあるが、空港に向かう人も、空港から帰ってくる人も多い。このようなことから景気は上向いているのではないかと。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・7月以降、客のなかからは、買いたいものや必要なものは購入するという動きが出てきており、現在でもその動きは継続していることから、定着しつつあるとみている。
		百貨店（総務担当）	単価の動き	・買上点数、買上単価共に増加している。また、商品の値段をあまり気にしなくなっている様子がみられており、景気は少し良くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・秋冬物のオーダーや、修理の仕事が多少増えてきている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・残暑の影響により、9月中旬まで夏物消費のニーズが続いている。その後は、台風通過後の気温低下によってようやく秋物消費も立ち上がっており、客の購入モチベーションが上がってきている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型車効果もあり、来客数、販売量共に回復傾向にある。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・9月中旬ごろから販売量に動きが出てきており、受注の進捗状況が良くなってきている。
		高級レストラン（支配人）	単価の動き	・周辺のイベントの影響で、インバウンドや来県者によるにぎわいがみられている。また、客単価も並行して向上しており、地域顧客にも相乗して売上が上昇する動きがみられる。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・今年に入ってから販売量が毎月前年を下回っていたが、今月は前年並みとなっている。今まで低迷が続いた分、多少は良くなっているという印象を受けている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・顧客の予算状況にゆとりがあるらしく、質、量共に受注が増えている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・後継者のいない経営者の資産処分が多く、このことで新しい宅地の仕入となり、新規物件受注につながっている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・天候不順の要素を除いても、売上は芳しくない。客単価の低下傾向は、過去の最も不況であった時期に似ている。思うように増えない収入と、食品や日用品がじわじわと値上がりしている状況で、客は財布のひもを締めがちになっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・客がこない状態が続いている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・春からの業績悪化から回復できないまま、横ばいで推移している。月前半は好調であり回復の兆しもみえたが、天候不順もあり、下旬は予想を上回る低迷に見舞われている。そのため、前半好調だった業績が帳消しになり、マイナスとなっている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・商品は動いているが、利幅の大きな商品は今一つ動かないため、利益は落ち込んでいる。
		一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移しているものの、高額商材の動きが悪く、売上が伸びない状態が続いている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・週末だけではなく平日も来客数が減少しはじめている。秋物の動きにも活発さはなく、単価ダウンとあわせて、回復の兆しはみえていない。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・天候不順が続いているが、中旬からは気温も下がり始めており、秋物に動きが出てきている。美術品などの高額商材も、催事を行うなどの取組を実施した結果、以前と比べて動いてきている。ただし、来客数は依然として前年を下回っており、景気が好転しているとまではいえない。	

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・秋物商戦に入っているが客の購買の動きが鈍い。衣料品だけではなく、食品関係の買上単価も上がっていない。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・9月中旬からようやく衣料品が動き出しており、前半のマイナス分をカバーしている。しかし、店頭では価格に対して敏感な声があり、平均単価も低下してきている。
スーパー（経営者）	単価の動き	・既存店の来客数は横ばいであるものの、工業製品の1品単価は微減している。
スーパー（店長）	単価の動き	・ここ数か月、節約志向が高まっており、客単価が前年を下回っている。
スーパー（営業担当）	お客様の様子	・既存店の売上は前年比100.4%とほぼ前年並みで推移している。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が増加してきているものの、客単価が低く、全体として売上は横ばいとなっている。また、客は目的買いが多く、財布のひもは固いままである。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・来客数の減少傾向に変化はなく、増加の動きも見当たらない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・夏場から秋にかけて天候も気温も良かったため、競争激化のなかでも来客数は変化せずに推移している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数がほぼ前年並みであり、前月と比べても同様の傾向である。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・販売価格が低下傾向にあるが、仕入価格は上昇気味である。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・開店して3か月半経過している。最初は開店祝いの来店や買上が大半を占めていたが、現在でもその来客数を維持している。客は何か良いものがあれば欲しい様子である。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・9月に入っても気温の高い日が続いたことで、秋物需要の立ち上がり前年よりも2週間ほど遅れている。
衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・売上の秋冬商材の比率が段々と高くなり、客単価も上がっていく月であるが、今年は売れ筋の単価が低く、客単価が上昇しない。また、客の動きも鈍く、秋冬商材の購買率が低い。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・9月の前半は気温が上昇したこともあり、季節商材が好調に推移している。ただし、来客数については前年比90%の状態が続いている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年並みであるが、単価が少しずつ下がっている。また、エアコンなどの季節商材も、前年とあまり変わらない数字ではあるが、平均単価が少しずつ下がっている。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・休日における来客数がなかなか増えていかない。
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店向けは変わらないものの、前月から店頭のレギュラー商品の動きが悪くなっている。ある程度の波があるが、落ち込みが少し大きい。
その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・夏物セールの販売量が少なく、秋物も投入しているが動きは鈍い。全体的に消費者の購入意欲が低調なままであり、厳しい状況が続いている。
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量の動きにあまり変化はなく、例年並みで推移している。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	単価の動き	・販売競争の激化により、販売単価が上がらず収益が落ち込んだままで推移している。冬場の需要期に向かっているが、単価の回復が進んでいない。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・これまでの推移と変わらず、変化はない。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今年の春以降、来客数は少しずつ良くなってきているものの、一進一退の状況である。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数や売上に大きな変動はない。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・例年よりやや悪い予約状況である。全体の動きが鈍く、多少料金を下げても集客にはつながっていない。
観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・相変わらず客単価が伸びていない。

観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・来客数などの動きは例年並みであるが、景気は安定感がみられずに低空飛行のままである。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・9月は県内での大会などが多かったため、宿泊はそれなりの稼働率となっている。また、プライダル関係も例年並みである。ただし、日々の会合などの人数や件数は若干減少している。
都市型ホテル（スタッフ）	それ以外	・フリー客の減少は止まっているものの、前月とあまり変わらない状況である。昔から選挙があると全体の動きが鈍る傾向にあるが、来月も選挙が予定されているため、減少はないものの、停滞感が漂っている。
旅行代理店（店長）	お客様の様子	・景気の不透明感が改善に至っていない。
旅行代理店（店長）	お客様の様子	・秋の行楽シーズンを控えているため、例年であればもう少し問い合わせ件数があってもおかしくないのだが、団体旅行の問い合わせ件数が今一つ増えていない。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・台風、大雨などの天候不順に加え、キャンセルも発生しており、来客数が減少している。
タクシー運転手	来客数の動き	・客からは、消費税率10%への引上げに関する話題や、年金が少なくなったという話を良く聞く。このような状況では景気は良くならない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・景気は下向き傾向ではあるものの、景況感は3か月前と変わらない。消費動向も抑え気味であり、豪雨災害の影響による物価の上昇が心配である。数件の輸入車ディーラーを訪問したが、前年より売上が減少している様子である。売上を確保するため、やむを得ず値引きをして利益が減少しており、また新車を投入しても伸び悩んでいるとの事である。
通信会社（営業担当）	単価の動き	・現在の物価からは、価格が上昇する要因は見当たらず、横ばいで推移している。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の投資意欲に、変化が見受けられない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入者数、解約者数共にここ数か月変わらず、純増数、純減数共に大きな変化はみられない。ただし、これまでと違い、新規加入者の半分を県外からの転入者が占めている状況である。新たな客の加入に救われてようやく一定の数を保っている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客からの値下げ要求が強い状態が続いている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・契約の提案内容が相変わらず価格重視である。
美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年を下回っており、その落ち幅がここ4か月同じような水準で推移している。
その他住宅[リフォーム]（従業員）	来客数の動き	・受付件数は前年並みまでに回復している。
商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街の店舗の入替えに激しさがみられている。また、新規出店から閉店までの期間が短くなってきており、特に飲食店において多く散見されている。さらに、今月は台風などの影響もあり、来街客がかなり落ち込んでいる。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・新規客が増えず、顧客の動員で売上が左右される状況に変化はない。また、季節の変わり目に合わせて新しいものを買うことが後回しになり、実需期にならないと買物にこない客も非常に多くなっている。加えて、買う側の環境はネット通販など、幅広い選択肢があり、価格やトレンドを自分のライフスタイルに合わせて選べるため、百貨店離れは更に拡大しそうである。
スーパー（経営者）	単価の動き	・9月の平均1品単価は3%強の前年割れとなっている。また、買上点数は前年並みであるものの、来客数は前年を下回っている。これらは穏やかではあるが、やや悪い傾向である。
スーパー（店長）	来客数の動き	・9月は天候にあまり恵まれず、来客数の減少に伴い売上も減少している。
スーパー（店長）	販売量の動き	・7月に前年比105.9%であった売上が、8月は前年比100.2%と、やや悪くなっている。

スーパー（営業担当）	販売量の動き	・例年にない大型台風の来襲や天候不順により、来客数が大きく影響を受けており、更に買上点数も減少している。対策としてチラシ価格を強化しているが、それは競争店も同じであり、客単価が低下している状況である。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・客の買上点数がだんだんと落ち込んできている。以前は新規商品が目につくと客は購入していたが、現在はそんなことが少なくなっている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年並みであるものの、客単価が上がらずに苦戦している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・9月の来客数は、悪天候の影響もあり前年比で2%以上減少している。また、コンビニの強みであるファーストフードも、6か月連続して前年を下回っている。来客数の減少に加えて、プラス一品の購入が抑えられている状況である。
コンビニ（店長）	単価の動き	・商品の購入について、単価の低下はそれほどでもないが、買上点数が減少している。そのため、景気はやや下降気味である。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・例年に比べて気温は高いものの、9月に入ってから売上が大きく落ち込んでいる。競合店の影響もあるが、単価も前年を下回っていることから、客の購買意欲が落ちてきている。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・秋物商材の動きが前年と比較しても非常に鈍い。いま着るものや単価の低いものは動いているが、ジャケットやコートのような、単価の高いものは全く動いていない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・天候不順により、夏物が売れるタイミングで涼しくなったため、盛夏物が厳しい。この時期は、盛夏物が売れないとクールビズのスーツも売れない。また、台風などにより客足がかなり遠のいており、衣料業界は厳しい状況である。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量に加えて、単価の低下も顕著になってきている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売されたが、注文数はそれほどでもない。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注の動きが鈍くなっており、量的にも金額的にも減少している。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・相変わらず来客数が少なく、売上も悪い。
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月は気候が安定せず台風も多かったことから、飲食店や観光客向けの物産館などの販売量に大きく影響している。また、野菜などの生鮮食品の価格高騰がニュースなどで大きく報道され、消費者の財布のひもが一層固くなる要因となっており、特に飲食店では大きな影響が出ている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・通常忙しくなる金曜日でも客の動向が読めない。周囲の飲食業も同様であり、曜日に関係なく予約は入るものの、静かである。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・会社関係の客単価にはあまり変化がないが、個人客の単価は低下している。フランチャイズ店間の価格競争があるなか、賃金の上昇が緩やかな流れになっているようであり、なかなか思い切った消費には結びついていない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・前年同時期と比較して、法人や団体などのバンケット利用が減少している。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊稼働率が前年を下回っており、宴会に関しても件数が前年を下回っている。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・例年と比べて連休の並びが悪かったことと、台風が連続したことにより、出控える人が多かったように見受けられる。このことから、景気が良くないと判断している。
観光名所（職員）	来客数の動き	・フリー客が止まった感があり、22日以降の連休の入込が前年より約10%も減少している。
観光名所（職員）	来客数の動き	・9月に発生した豪雨被害などによる影響もあり、これまでよりも更に来客数が減少している。
遊園地（経営者）	来客数の動き	・大型連休のあった前年と比較して、来客数が減少することは織り込み済みである。しかし、今年は今年の40%の日照率であり雨も多く、業績は弱含んでいる。
競艇場（職員）	単価の動き	・3か月前と比較して、客単価が落ちてきている。
美容室（経営者）	来客数の動き	・夏の消費の反動か、来店周期が少し伸びている。そのため、来客数がやや減少傾向にある。

	美容室（経営者）	来客数の動き	・周辺から会社がどんどん無くなっている。不景気になり客の動きもずっと悪くなっている。
x	一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・オリンピックや、政治に対する不安などにより、消費マインドが一層下がっている。
x	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・9月上旬に大きなイベントがあり、会場には多くの人が集まったが、その人達が繁華街へと流れることはほとんど無かった。そのため、来客数が落ち込んでいる。
x	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・大手スーパーを中心に、デフレ価格に戻りつつある。客の節約志向と合わせて厳しさが増している。
x	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今年は店を始めて20年になるが、最も静かな9月である。市内各地で様々なイベントが開催され、さらに、天気が悪い日が続いているため、昼間も夜間も極端に低調な営業となっている。
企業 動向 関連  (東北)	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・大型官庁工事の設計変更などを先行計上したことにより、業績が上向いている。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・顧客からの受注量が回復してきている。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・半導体製品の大口受注価格が徐々に回復傾向にあり、それが事業実績に少しずつではあるが、反映されてきている。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・不安要素は少なく、物量も安定している。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・定期貨物が順調に推移していることに加えて、新規取扱も増えている。
	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年を10%ほど上回っており、売上も6%増加している。
	農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・前年と比較して農協取引の米価は若干上昇したものの、依然として価格の低迷が続いている。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前半の動きは良かったが、台風や飛び石連休の影響により、中旬以降は売上が大きく落ち込んでいる。また、今年は前年のような大きなイベントがなく、トータルでも大きく前年を下回っている。
	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量は前年比4～5%の減少が続いており、厳しい状況に変わりはない。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・天候不順などもあり、店頭の売上が大変悪い。
	木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の価格競争により、収益の改善が進んでいない。
	出版・印刷・関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・飲食店などの景気は厳しい様子である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・中小企業の工場では、それなりの仕事量を持っている様子である。
	建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度が高い状態が続いている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・顧客減少を補うため新規開拓を開始したが、認知度が低いため苦戦を強いられている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・投資拡大する企業が増えていない印象がある。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・円高や株式市場の不透明感から、資産運用業務の環境は厳しくなっている。
	金融業（広報担当）	取引先の様子	・住宅投資が好調を持続している一方、自動車や一般消費財などの個人消費は、前月比でマイナスの状況が続いている。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・デスティネーションキャンペーンも終わっており、特に大きな変化はない。
	司法書士	それ以外	・登記所における不動産の登記申請件数の動きに変化はない。
公認会計士	取引先の様子	・建設業の売上は減少しているものの、利益を確保している好調な会社が多い。小売業、サービス業は業種によりまちまちであるが、赤字企業が若干増えてきている。	
その他企業〔企画業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・得意先である、エネルギー関連企業からの広報関係の印刷物や、催事の案件が相変わらず少ない。	
農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・農協出荷分のももの精算表が届いたが、前年より2～3割安くなっている。品質は前年同様に良かったのだが、販売単価は低い。	

	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・駅前周辺に複数の大型商業施設が新規オープンしており、客が分散している。そのため、店舗への来客数が減少している。
	出版・印刷・同 関連産業(経理 担当)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比較して、受注量の前年比が落ち込んできている。景気に敏感な業種のため、景気は悪くなっているといえる。
	窯業・土石製品 製造業(役員)	受注量や販売量 の動き	・震災復興の需要が減少している。
	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・お盆過ぎから受注量が落ち込んできている。また、気候の変動も影響している。
	広告業協会(役 員)	それ以外	・新聞広告は9～10月共にかなり厳しい状況にある。テレビ広告関係でも、スポットは埋まっているものの、売上の増加には至っていない。ただし、折込広告関係は通販、サービス関係がやや回復してきている。
	広告代理店(経 営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量もそうであるが、受注のスピードも減速気味である。
	経営コンサルタ ント	取引先の様子	・台風や秋の長雨が続き、販売活動に支障がでている。
	コピーサービス 業(従業員)	受注量や販売量 の動き	・売上が20%ほど減少しており非常に厳しい。前年と比べても10%減少している。
	その他企業[工 場施設管理] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・オリンピックが終わり、顧客の売上は下降してきている様子である。
	x	*	*
雇用 関連 (東北)		-	-
	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・当初の見通し以上に有給休暇の取得が多く、8月は単月赤字となっている。ただし、営業値の前年比は計画を上回っている。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・高校生向けの就職採用が解禁されたが、パチンコ店、アミューズメント、飲食店などの不人気業種への応募が、前年に比べて半減している。全体的に高校生への求人の高さがうかがえる。
	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・求職者と求人のミスマッチが多い状態が続いている。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・例年であれば、9月中旬～10月は求人数が増える傾向にあるが、今年はその実感が持てない。求人数は少ないが、増えているという印象もない。
	職業安定所(職 員)	それ以外	・有効求人倍率は3か月連続で上昇している。前年同月比も上昇しているが、求職者数の減少に伴う影響が大きい。
	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・求人は引き続き堅調に推移している。ただし、好況による人手不足ではなく、労働力人口の減少によりなかなか充足できないことが要因である。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・8月の求人が前年同月と比較して約8%増加している。求職者の減少もあり、求人倍率は1.5倍を超えている。また、一部業種で人手不足が顕著になっている。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・求人数の動きに大きな変動はなく、3か月前及び前年同月比でもほぼ横ばいで推移している。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比3%強の増加であり、同様に月間有効求人数も3%台の増加と、緩やかな増加傾向にある。求職者数も前年同月比は減少傾向になっている。そのため、有効求人倍率は2か月連続して1.2倍台となっているが、求人全数が多いという傾向は大きく変わらず、求人からみた景況感に大きな動きはない。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に前年と比較して増加しているが、景気が良くなっているとまではいえない。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・有効求人倍率は、前月に引き続き1.30倍を超える高水準で推移している。しかし、新規求人数及び有効求人数は、共にほぼ横ばいの状況が続いており、景況感に大きな変化はみられていない。
	職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・4月以降、新規求職者数、有効求職者数共に動きが少ないものの、55歳以上の求職者数は新規求職者数、有効求職者数共に増加傾向で推移している。また、新規求職者における在職者の割合が増加している。
	学校就職担当者	求人数の動き	・新規獲得求人数は、ほぼ横ばい状態で推移しており、大きな変化はない。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・例年の上期末と比較しても、企業、店舗の採用意欲が弱い。

	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・金融など特定の業種において、求人数を絞るなど求人 の動きが落ち着いてきている。そのため、求人数の 伸びが緩やかになってきている。
	アウトソーシング 企業(社員)	それ以外	・復興関連の仕事が減少している。
	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・求人は相変わらず落ち込んでいる。当市では流通な どの新店進出がみられるが、県レベルとなると活性化 の話題もなく、厳しい状態が続いている。
	新聞社[求人広 告](担当者)	周辺企業の様子	・台風10号の豪雨被害が多方面に広がっている。観光 面では、イベントの中止や宿泊施設のキャンセルが相 次いでおり、観光の復興に水を差している。
	民間職業紹介機 関(職員)	雇用形態の様子	・復興関連の業界が一段落しており、雇用形態に変化 が表れている。また、非正規社員雇用の減少、求人 の減少がみられている。
x	-	-	-